

## 【第 64 回セミナー受講者からの感想・ご意見】

2022 年 10 月 26 日（水）13：00～16：00

京王プラザホテル札幌 2 階 第 1 会場「エミネンスホール」

### ■ 感想

- 大変勉強になりました。（多数）
- 先生方の講演が実臨床へ役立つ知識となりました。（多数）
- 臨床に則して分かりやすい内容でした。今後の業務に活かしていきたいです。（多数）
- 演者、講演内容も素晴らしかったです。ありがとうございました。（多数）
- このような事例検討にディスカッサントのコメントは非常に参考になりました。（多数）
- 普段よく悩むような事例で勉強になりました。
- いずれも素晴らしいご講演でしたが、特に志馬先生のご講演が印象的でした。
- いつも刺激を頂いて、また勉強するキッカケになります。
- 今回初めてセミナーに参加しました。セミナーの内容、ディスカッション共にためになる内容でした。当院は感染症内科がないため主治医と相談しながら抗菌薬適正使用に努めたいと思います。
- 普段経験することの少ない事例を学び、普段経験しているような事例においても復習の意味で勉強になりました。
- 届出を要する抗菌薬の使い方については、実際に悩む問題点を中心にお話を伺うことができ、本当にありがたく思っております。今後もこうした機会での **update** がはかれればと思っております。ありがとうございました。
- きちんと理由を話されていたので、このようにクリアに話される **Dr** たちの話は聞いていて非常に楽しかったです。
- キノロンの処方では当院でももっと介入していきたいと考えているところでしたので、非常に勉強になりました。
- 炎症マーカーや治療反応について勉強になりました。同じ様な経験もあり、患者状態も含め **AST** 活動時に確認していきたいです。
- 「**Targeted empiric therapy**」の概念が臨床医の先生方に理解して頂くのは長期的にみる必要があると思っておりますが、診断を初期にしっかりつけることに関しては **AST** から声をかけていこうと思いました。現在でも“何となく”“とりあえず”処方の抗菌薬が散見されており **AST** としても課題としています。
- *Klebsiella pneumoniae* の症例は勉強になりました。

### ■ 症例について

- 外科症例検討は外科的な処理が絶対的に必要であると、これにより抗菌薬の投与期間の短縮もはかれることが分かりました。
- クリニカルクエスチョンに焦点を当てた内容はとても参考になります。医師・薬剤師・検査技師の視点から、感染症診療についてレクチャーしていただき、真の意味での **Antimicrobial Stewardship**、**Diagnostic Stewardship** について学べたら、実臨床に生かしやすい内容になるかなと思いました。

## ■ 要望

- 薬剤師と医師の目線が少し違うと思うので、薬剤師側の意見も聞いてみたかったです。
- 小児領域の症例もあってもいいと思いました。
- 術後難渋する症例をもっとディスカッションで見たいと思いました。(胃食道や BD グルガンのみの高値)
- 当院では外科術後のドレーンはカットドレーンを使用している例がまだ残っており、感染の懸念から閉鎖式のものに変えていただきたいのですが、変更してもらえていません。抗菌薬を含めて周術期管理全体についてセミナーで聞ければ嬉しいです。
- 手元の資料とスライドが異なるものは配布して頂けると有難いです。(多数)
- スライドを PDF 等、電子版でもらえると助かります。